

★チャレンジ! 夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

授業拝見、おじゃまします!! (5年 道徳)

「ヒヤリ・ハット」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「ヒヤリ・ハット」というのは、重大な災害や事故に直結する一歩手前の出来事のことです。思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたり、事故寸前のミスに「ハッ」としたりすることが言葉の由来となっています。

5月22日(水)の5校時、5年生の「特別の教科 道徳」の授業を拝見しました。題材は、「安全に過ごすために『ヒヤリ・ハット』(内容項目: 節度、節制)」です。この授業では、自分の生活を見直し、危険から身を守り、自他の安全にも気を付けようとする判断力を育むことをねらいとしています。

授業の冒頭、〇〇〇先生が黒板に「300」「29」「1」という数字を書き、この数字は何を意味しているか質問しました。さすがにこの数字の意味を答えることができた子どもはいませんでした。これは、「ハイン・リッヒの法則」に関する数字です。1件の重大事故の背後には、重大事故に至らなかった29件の軽微な事故が隠れており、さらにその背後には事故寸前だった300件の「ヒヤリ・ハット」が隠れているというもので



です。〇〇〇先生の範読の後、教科書に載っている学校生活や地域の絵をもとにして、どんな危険が隠れているかを考え、発表し合いました。子どもたちは、身近なところにたくさんの危険が潜んでいることに気付き、意欲的に発表していました。

授業の後半では、〇〇〇先生から「学校のリーダーとなる5年生として、学校のみなが安全に過ごすためには、どのような心構えや考え方をすればいいのでしょうか」という質問があり、それぞれ自分の考えを書いた後、全体で話合いました。

事故はいつ起こるか分かりません。また、いつ自分が事故に巻き込まれるか分かりません。互いの思いを語り合える5年生。子どもたちは、身近で起こった「ヒヤリ・ハット」を思い出しながら、安全な学校生活を送るために自分ができることについてじっくり考えることができました。

放課時間変更のお知らせ

5月28日(火)に太田地域の教職員研修会を行うことになりました。そのため、5月28日(火)の放課時間を14時5分に変更します。よろしくお願いいたします。